

科目名	作業療法学概論			ナンバリング	ASF136	授業形態	講義
対象学年	1 年	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	篠田峯子	担当教員					

授業の概要	作業療法の誕生と歴史，そして変遷を日本と世界との違い比較し，その理由を知る。人にとって健康とは何か，健康の姿を作業モデルとICFの考え方と比較して知る。また，作業療法が医学モデルから社会的モデルまで幅広い対応をしながら作業療法の考え方と支援法を理解し、対象者に対する作業療法の支援法を学ぶ。これらを通じて、作業療法士に求められるヒューマンイズムと倫理観を養う。				
到達目標	①作業療法の歴史的変遷から役割や必要性を説明できる。 ②作業療法の基本概念と実践を説明できる。 ③作業療法で用いる「作業」、「自分自身」、「環境や対人関係」の意義を説明できる。 ④作業療法の過程を医学モデル、ICFの考え方、作業療法モデルを用いて説明できる。 ⑤作業療法の対象となる人々について知り、協働する他の職種の人々とのチームワークについて説明できる。 ⑥新生児から障がい高齢者までを対象とする職業人として、豊かなヒューマンイズムと倫理観を養い、協調、協働の中から作業療法の本質を理解する。				
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	①小グループ学習を基本とする。 ②自分の意見をまとめ、それを他者に伝え、他者の意見を聞き、ディスカッションするというコミュニケーション力を身につける。 ③インターネットだけに頼らず、幅広い情報収集法を活用できるようになる。				
ディプロマポリシーとの関連	【健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー】				
	○	1	広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマンイズムと倫理観を身につけている。		
	○	2	地域に住む孤立しがちな人びとや、心身および生活上の障害を抱えた人びとの個別な健康・医療課題を的確に把握し、子どもから高齢者に至るまでその人らしく生活できるように、その生活支援や就労支援を行うことで、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。		
	○	3	健康・医療に関わる課題を解決するために、作業療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた作業療法技術を駆使して生活能力の再獲得への支援ができる。		
	○	4	健康・医療に関わる作業療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的且つ能動的な学修ができる。		

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①ポートフォリオを作成し提出する。 ②期末試験に合格する。 ③授業ごとの授業評価を提出する。 ④グループ発表の資料を作成し、プレゼンテーションを行う。	①ポートフォリオに必要な情報が分かりやすくまとめられている。 ②授業への積極的参加態度。 ③授業評価に対して、具体的な意見と客観的評価ができる。

成績評価観点	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
評価方法							
定期試験(中間・期末試験)	●						40%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート			●				10%
授業態度・授業への参加				●			10%
プレゼンテーション・フィードバック			●		●		20%
ポートフォリオ			●		●		20%

課題、評価のフィードバック	manab@IMUを使用するなどして、個別にフィードバックを行う。
---------------	-----------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	r備考
授業計画	第1回	オリエンテーション 作業療法の概観	小グループ学習の進め方と参加方法 グループ分け VTRIによる作業療法の紹介 グループディスカッションと発表	
	第2回	リハビリテーション専門職としての倫理 地域におけるOTなど社会状況	医療倫理、作業療法士協会の倫理要綱、個人情報保護 OT／PT法、介護保険におけるOT、地域包括ケアにおけるOTなど	
	第3回	日本と世界の作業療法の歴史	作業療法のルーツその流れ(学生発表とディスカッション)	
	第4回	作業療法の原理・理論、医学モデル、国際 生活機能分類	作業療法が目指していること、医学モデルの目指していること、国 際生活機能分類の理念(学生発表とディスカッション)	
	第5回	身体障害の作業療法とチームワーク	対象となる疾患、障害と協働する職種とその役割分担、ヒューマニ ズムと倫理観を学ぶ(学生発表とディスカッション)	
	第6回	高齢者の作業療法、発達期の作業療法チー ムワーク	まとめ	
	第7回	精神障害の作業療法とチームワーク	対象となる疾患、障害と協働する職種とその役割分担、ヒューマニ ズムと倫理観を学ぶ(学生発表とディスカッション)	
	第8回	まとめ	授業の振り返りと授業目標の達成度確認、質疑応答感想発表	
	試験	全講義終了後に期末試験(筆記試験)を実施する。試験範囲は全範囲とする。		
授業の進め方		グループごとにテーマに沿って、準備をし発表する。パワーポイントによる資料提示と、配付資料を作成する。重要なポイントについてディスカッショ ンをする。		
授業外学習の指示		テーマに沿って、発表グループ以外の学生は、自己学習をし質問や意見をまとめておく。発表学生はグループ内での役割分担して、協働で準備す ること。発表のテーマは第1回目の講義で示す。 (授業外学習時間： 毎週 220 分)		

教科書	杉原素子(編集). 作業療法全書1巻 作業療法概論. 協同医書出版 3,570円(税込) ISBN:ISBN978-4-7639-2118-5
参考書	編集:二木 淑子. 能登 真一. 標準作業療法学 専門分野 作業療法学概論. 医学書院 4,320円(税込) ISBN:978-4-260-02535-5 編集:里村 恵子. 作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 作業療法学概論. 改訂第2版 メジカルビュー社 4,536円(税込) ISBN:978-4758316705 秋元波留夫、富岡詔子. 新作業療法の源流. 三輪書店 4,719円(税込) ISBN:978-4895900089
参考URLなど	授業で関連情報を示す
その他	